



モルドバをヨーロッパの柔道の聖地にする

モルドバはヨーロッパの最貧国ですが、人々の心が温かい素晴らしい国です。昨今もウクライナの戦禍から逃れてきた人々を多数受け入れて助けるなど自分からは貧しいにもかかわらず他人を助けるという素晴らしい国民性と思います。

私は日本の大手建設会社の海外部門、米国の投資銀行の日本での不良債権処理、不動産開発マネジメント、インドネシアでの PM/CM 会社経営などを行ってきましたが、たまたま柔道の講道館の創始者嘉納治五郎の血を引き継いでいることもあり、その自他共栄、精力善用をはじめとする柔道を通じての人格陶冶を広めるべきと思い、既に旧ソ連時代からモルドバで盛んな柔道をますます盛んにし、モルドバを柔道の聖地としていきたいと考えています。

そのため講道館の分室、日本の柔道家を派遣して モルドバに行けば日本の柔道を直接学べる聖地として、柔道アリーナ、宿泊施設の複合施設を最終建設目的にしています（第3段階とし既に敷地は確保済み）。第一段階としては、首都キシナウの建物一室を借り受け、柔道練習場に改装し、日本からの柔道家を派遣して柔道場を運営開始、第二段階としては、既に建設途上で頓挫したキシナウ市内のスポーツクラブを柔道スポーツクラブとして建設引き継ぎ、運営拡充、第三段階としてキシナウ郊外の上記重道アリーナ、柔道の聖地建物建設を予定しています。

今回の募集ではこの第一段階の費用、第二、第三段階のプロジェクトの設計費用などの準備業務で日本円で5000万円を募集します。

第二段階は Total Cost 約10億円、第三段階としては約200億円の想定をしています。

モルドバで、今日本人が柔道の本来の意義を伝えるために このプロジェクトを進めていることに平和へ向けての価値があると信じています。

下記、柔道創始者嘉納治五郎がオリンピックをアジアへ初めて誘致した記録を参考までに下記 URL 参照ください。

https://www.joc.or.jp/english/historyjapan/kano_jigoro.html